

# エルサレム教会会議

使徒の働き15章1-21  
2016,12,4 HKJCF

## 概観

序)①第1次宣教旅行 ②エルサレム教会会議:ヨーロッパ世界への宣教の準備  
③第2次宣教旅行

I 割礼問題 v1-3

II ペテロの宣言(1)(2) v4-11

III ヤコブの提案 v12-21

「神様、私たちが信仰義認の立場に堅く立つとともに、愛の道を歩み、信仰の弱い人に配慮することが出来るように 主のご聖霊の知恵と愛で満たして下さい」

## I 割礼問題

1、アンテオケ教会の特徴

- ①最初の異邦人教会
- ②パウロ・バルナバら多数の教師
- ③宣教の使命

2、律法主義者の主張

- ①救い=十字架信仰+割礼(律法)
- ②激しい議論

3、エルサレム会議へ

- ⇒①問題は前進の機会
- ②GR世界への福音宣教の土台造り

## II ペテロの宣言(1)

1、ペテロの宣言:キリスト教の根本教理

- ①キリストの福音への「信仰
- ②聖霊の証し、差別の撤廃、聖め
- ③律法の重荷と恵みによる救いの強調

2、支持する聖書箇所

- ①律法の重荷 マタイ23:1-5
- ②信仰義認 ガラテヤ5:1-6
- ③律法はキリストで成就 ローマ10:1-4

## II ペテロの宣言(2)

④律法の相対化 i 祭儀 ii 社会 iii 道徳

⑤福音と文化 福音的文化の創造

⇒①焦点は救いはキリストの十字架だけで十分か=信仰義認か否か?

②信仰義認なら、律法の位置づけは?

1)主への養育係2)神の子の最低基準

③福音と文化の関係は?

参)無条件の愛で救われた神の子は神様と隣人への愛を選択可能

## III ヤコブの提案

1、ダビデの礼拝の回復と異邦人の救い

2、福音の原理と分裂回避の原則

3、ヤコブの提案:一時的交わりの原則

①偶像に供えたけがれた肉⇔偶像礼拝

②不品行⇔GR社会 ローマ1:20-25

③絞殺した物と血⇔創造の神様の主権

:血を地に返す→血=命 は神様のもの

⇒福音の基本原理の確立、両教会の交わりと協力の原則の提案